



がちりニュースレター

第34号

発行先: 沢木歯科医院
住所: 熊本市東区東野1丁目9-8
TEL: 096-367-1311



今年もよろしくお願いたします。

院長の澤木です。お元気ですか？

令和二年 睦月 寒中お見舞い申し上げます。



今回は“祈り”について。村上和雄（筑波大学名誉教授）先生が、祈りについて次のように述べています。人類は宗教が生まれる前から祈りという行為を続けてきましたけれども、それは祈りに思いもよらない力があることを実感していたからであり、だからこそ「生命の宣言」ともいべき決然たる思いをもって手を合わせてきたのだと考えられています。と述べておられます。

また、祈りの効果が科学的に研究されはじめ、ストレスによる免疫機能低下の改善、抑うつからの回復効果をもたらしたりするという報告がなされているということです。

日々の祈りがある心理状態をつくり、それが積み重なることで遺伝子を介して体に影響を及ぼしたのではないかと先生は推察しています。そして、そのメカニズムは心よりも深い「魂」と呼ばれるもの関わっているのかもしれないと先生は考えています。

熊本地震からいろいろ大変なこともありました。今振り返ってみれば、そのときどき様々な御計らいがあり、現在、今日を無事に過ごしています。このこと自体ありがたいことだと思える今日この頃です。



担当: 澤木 千尋

昨年末、去年の10月に支援者として初めて参加したクラウドファンディングのリターン品が届きました。クラウドファンディングとは、「群衆(クラウド)」と資金調達(ファンディング)」を組み合わせた造語で、インターネットを通して、自分の夢や活動を発信して、それに共感して応援したいと思った人から資金を募るといったサービスです。私が参加したのは、宮崎県日之影町のこんにゃく唐揚げを復活させたいというものでした。私の友人が起案者だったことがきっかけです。

結果は目標金額に届かず、未達成でしたが、友人からお礼のメールが届きました。

友人は以前の勤務先の同期で、その頃から面白い人でした。

本を出すと言って、在職中に本当に一冊本を出版したり、

入社当時から社長になると言い続けて、今では起業して一國一城の主です。

友人から届いたメールにはクラウドファンディングの活動報告はもちろん、今後の展望や夢が綴られていました。変わらない友人の行動力に感嘆しつつ、届いた箱を開けてみると、

中にはこんにゃく唐揚げの素が入っていました。こんにゃく唐揚げは宮崎県日之影町の名産品だそうです。

私は人生で唐揚げを作ったことがありません。理由は怖いから。できることなら作りたくありません。

しかし、「パッケージはもちろん、味にもこだわったから是非食べてほしい」

そう言った友人の嬉しそうな顔が頭に浮かびます。

賞味期限は12月。早く友人に「食べたよ!」と言って感想を伝えたい!

はやる気持ち、迫る賞味期限。これはもうやるしかない! 2020年の私へ 唐揚げどうでしたか?

